

中山間地域コミュニティ再生 重点プロジェクト事業

雲南市波多地区活動報告



波多地区の概要

- 面積 25.72km²
- 人口 439人
- 世帯数 172世帯
- 自治会数 15自治会
- 学校 小・中学校 なし(小学校はH20年3月廃校)
- 高齢化率 48.75%
- 地域自主組織 波多コミュニティ協議会
- ・ 設立 H10.4.18 (S54～組織の母体となる活動が始まる)
- ・ 構成団体 自治会(15)、女性の会、老人会など



旧波多小学校

※(数値はH21.4.1現在)

波多コミュニティ協議会

● 波多コミュニティ協議会の組織

役員会 — 幹事会 — 各種団体代表

会長

副会長

事務局

10名

各自治会代表

15名

女性部 2名

17名

体協・女性部

消防・商工会

交通安全

PTA代表 他

10名

- ・全体会・・・年6回
- ・役員会・・・6回
- ・幹事会・・・5回程度開催
- ・拠点施設・温泉施設などを雲南市から指定管理者制度で管理をしている。
- ・公共施設草刈・夏祭り・温泉祭り・環境保護活動など

●彩りプロジェクト設立

- 中山間地域再生重点プロジェクト事業の導入



- 地域マネージャー募集、就任



- 波多コミュニティ協議会の部会として事業を進める「彩りプロジェクト」を設立

- ・メンバー募集・・・10人ほどで結成
- ・月1回～2回の会議で波多地区の課題に取り組む
- ・コミュニティ協議会の全体会に出席、報告。

彩りプロジェクトの取り組み

(平成20年度)

①ワークショップ・アンケート調査の実施

- ・地域を総点検。

②自然体験型宿泊事業の実施

- ・旧波多小学校を活用して「忍者 波多街道で宝を探せ」
「馬とのふれあい」と題し宿泊を伴った大人と子どものふれあい活動を実施。

③イベントを通じた新しいシステムの実証

- ・「暖談春寄席 in 波多」と銘打った落語会を開催、
地域の交通システムの必要性を検証。

彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）①～

- 20年度に実施したワークショップ、アンケートの結果をもとに、波多地区の課題を抽出。

課題を話し合い、5つの柱に分類

- ① 「防災」・・・自分のまわりを知る。
- ② 「産業」・・・波多の宝を活かす。
- ③ 「生活（福祉・店）」・・・困ったときのたすけあい。
- ④ 「交通」・・・引きこもりにならないために。
- ⑤ 「交流」・・・波多の自然を満喫しよう。



「防災」「交通」「店」を重点的に検討

彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）②～

●第1回自治会話し合い（6月3日～28日）

まずは、地域を知ろう。

15自治会を3人一組でまわり、家族
全員参加を合言葉に話し合いました。



メンバーの中にもはじめていった地
域もあり、大変いい機会となった。

困ったときは、いつでも知らせて下さ
いね。



彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）③～

●波多の自然を満喫しよー！体験合宿 8/4～6

旧波多小を活用して、波多の自然の美しさを伝えるとともに、波多地区以外の方に波多を知ってもらおうことが目的。

参加者 41名ふれあいの里、竹の体験
自分の事は自分で体験



キラキラ雲南(株)、
ふれあいの里奥出雲
公園と連携。

彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）④

●コミュニティビジネスの調査研究



波多小プールを活用、
ホンモロコを養殖

女性部環境活動
微生物入り廃油石けん



彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）⑤

●地域内交通・買い物試行・・・自治会話し合いでの要望



地区内の雑貨店が1店に。
拠点施設に出店して補完



たすけ愛号の運行
・車を持たない方、困ったときのたすけ愛システムとして
試行運行を始めました。

彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）⑥

●防災……50年災害を教訓に……

昭和50年にあった波多地区を壊滅状態に陥らせた水害を教訓に自治会で話し合い。

- ・自らの家の周りはどうなのか。
- ・いざというときの避難場所
- ・災害が起きたときの連絡体制
- ・支援が必要な方の確認。

話し合っ確認したことをハザードマップに記入、航空写真でのマップを全自治会に配布。



彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）⑦

●多様なメディアを活用した情報発信

- ・広報(彩り便り: 1~4号)の発行



- ・ブログ(雲南ブランドサイト)の定期更新
<http://unnan47.blogspot.com/>
- ・その他(新聞、市報、ケーブルテレビ等)
多様な媒体を活用して情報発信。



彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）⑧

●21年度事業の振り返り（第10回彩りプロジェクト会議）

- ・ワークショップ形式による振り返り
（事業の成果と課題、10年後の地域像（全体目標）について）



- ・2回目の自治会訪問の前に彩りプロジェクトとしての考え方を整理した上で各自治会で意見交換



- ・22年度の事業計画に反映



～振り返り～

	成 果	課 題	事業の全体目標
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会話し合い ・ホンモロコ養殖 ・自然体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の協力 ・他自治会との連携 ・地域計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたがいにたすけ愛ができる地域に
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が向上 ・防災用品を配布 ・防災マップを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の確認 ・要援護者の支援方法を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い力が活かせる地域
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・たすけ愛号の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合った運行形態の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の事として考える地域
店	<ul style="list-style-type: none"> ・こんまいふるえさんの開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品ニーズの検討 ・利用者へのPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・波多の良さを活かせる活動を。

彩りプロジェクトの取り組み（平成21年度）⑨～

●第2回自治会話し合い（1月16日～2月28日）

- ・振り返りをもとに2回目の自治会訪問を実施。



- ・事業実施状況の報告や今後の取り組み等について意見交換して集約



- ・22年度の事業計画に反映



～平成22年度にむけて～

- ▶ **防災体制の整備、防災意識の向上**
波多全体の防災組織の検討
- ▶ **地域内交通システムの試行(定着・持続を検討)**
- ▶ **波多の自然・施設を活かせる活動**
「ふれあいの里の活用」「波多温泉」
- ▶ **幅広い年代が地域活動に参加する方策の検討**
- ▶ **地区計画素案の策定**

● 10年後の明るい

波多地区をめざして

- ・下を向いていても仕方が無い
- ・自分たちが出来ることは？
- ・困ったときに助け合える。



そんな波多地区を
めざしましょう。